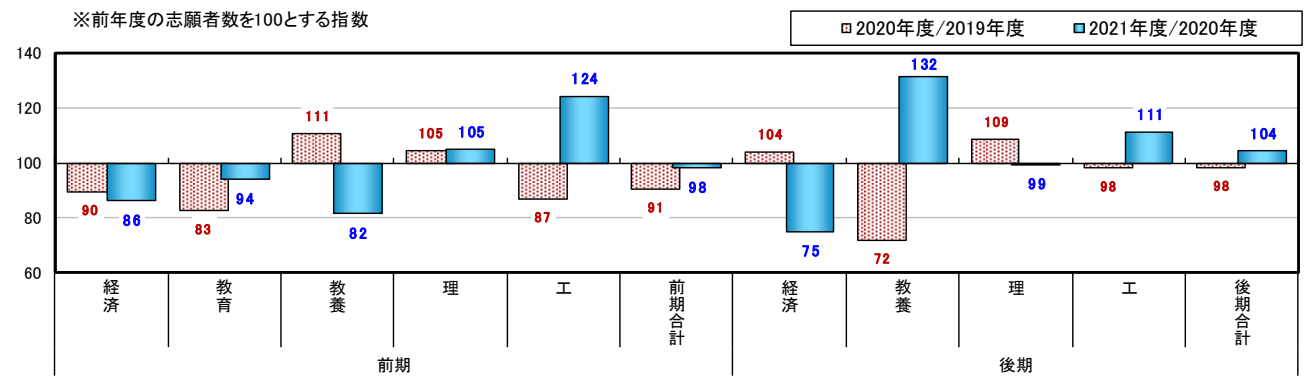
2021 年度入試状況分析【国公立大】

埼玉大：前期は微減で２年連続減少、後期はやや増加　　前期：−53 人　後期：+122 人



入試変更点	調査書：全学部…特に利用なし→合否ラインに志願者が同点で並んだ場合は、調査書を活用し、順位を決定。 英語外部試験：経済(経済)〈国際プログラム枠〉〈前〉…利用する→廃止 募集人員：経済〈一般枠〉…〈前〉195 人→210 人 理(分子生物)…〈前〉22 人→20 人、〈後〉18 人→20 人 (生体制御)…〈後〉18 人→14 人 個別試験：理(基礎化学)〈前〉…総合問題→なし (分子生物)〈前〉…総合問題→面 (生体制御)〈後〉…理→論

COMMENT　※(　　)内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は 53 人(98)の微減だが２年連続減少。後期は 122 人(104)のやや増加。学部別では、系統への人気の高低を反映して、工が前期(124)、後期(111)と共に増加。経済が前期(86)、後期(75)と共に減少。

〈前期日程〉

○**経済(86)**は、系統への低い人気から２年連続減少。方式別では、〈一般枠〉(92)が２年連続減少、募集人員が 195 人から 210 人に増加(募集人員の前年度対比指数 108 のため、志願倍率は 3.5 倍→3.0 倍にダウン。一方で、〈国際プログラム枠〉(58)は３年連続増加の反動と海外研修、海外留学がカリキュラムに含まれることでコロナ禍の影響を強く受けて半減に近い減少。

○**教育(94)**は、やや減少で前年度の大幅減少に引続き２年連続減少。課程・コース・系・専修・分野(以下「募集単位」)別では、18 募集単位中４募集単位のみが増加、(学校教育／小学校－理系)(145)、(学校教育／中学言語－国語)(140)、(学校教育／乳幼児)(118)は大幅増加。一方で、減少した 13 募集単位中９単位は大幅減少。特に、(学校教育／中学生活－技術)(27)、(学校教育／中学身体－保健体育)(30)は激減。

○**教養(82)**は、２年連続増加の反動で大幅減少。

○**理(105)**は、やや増加で４年連続増加。学科別では、(基礎化学)(125)が２年連続減少の反動と個別試験の総合問題を廃止し共通テストのみでの選抜に変更したことによる負担減で、大幅増加。(物理)(122)は大幅増加で３年連続増加。(数学)(108)は前年度減少の反動で増加。一方で、(分子生物)(86)は前年度倍増以上の増加の反動で減少、(生体制御)(94)は２年連続大幅増加の反動は小さくやや減少。

○**工(124)**は、2018 年度の改組後、２年連続減少の反動で大幅増加し、改組後では最多の志願者数。学科別では、(電気電子物理工)(277)が前年度半減に近い減少の反動で約 2.8 倍増、(応用化学)(160)が前年度大幅減少の反動で大幅増加。一方で、(情報工)(73)が前年度大幅増加の反動で大幅減少。

〈後期日程〉

○**経済(75)**は、系統の人気低下で大幅減少。

○**教養(132)**は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。

○**理(99)**は、前年度並。学科別では、(基礎化学)(154)が２年連続大幅増加、(分子生物)(136)は２年連続減少の反動で大幅増加。一方で、(生体制御)(50)が募集人員が４人減員で、個別試験を理科から論文に変更したことで半減、(物理)(78)が前年度大幅増加の反動で大幅減少。

○**工(111)**は、2018 年度の改組後、２年連続減少の反動で増加し、改組後では最多の志願者数。。学科別では、(電気電子物理工)(261)が前年度大幅減少の反動で約 2.6 倍増、(環境社会デザイン)(142)は前年度大幅減少の反動で大幅増加。一方で、(応用化学)(76)は前年度お大幅増加の反動で大幅減少、(機械工・システムデザイン)(83)は改組後２年連続増加の反動で大幅減少。